

Title	ドラフター用ライブラリーサブルーチン群の問題点について
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1978, 30, p. 75-75
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65390
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

ドラフター用ライブラリーサブルーチン群の問題点について

ドラフター用ライブラリーサブルーチン群の中で以下に記するものについて問題点があり、利用者の方に御迷惑をおかけしましたが原因を究明し、修正いたしましたのでお知らせします。

1. NOSEQとGENTENとの併用では、原点の移動が正しく行われない。
2. GENTENと1NCHGEとの併用では作図は正常でない。
3. SHADEは説明書どおりにやっても、斜線の傾きによって正しく描けない場合がある。
4. SYMBL1で描かれる記号のうちICODE = 64, 65は説明書どおりでない。
5. SLINEでICODEの数値によってはその記号が正しく描かれずに5桁の0と1桁の英字に変換される。
6. SMOTHにおいて閉曲線を描こうとする時、SMOTH自体のアルゴリズムに不備があり与えられる座標値によって近似がまったくできない。

(システム管理掛)